

乃神様の町興

はらがみさまのまおおとし

DOJIN
18禁
成人向け

注意書き
・過度の妊娠出産描写
・年月経過による加齢描写
・神視点による倫理観
・都合の良い虚構・SF描写





派閥が細分化されれば
それだけ人的リソースも
割かれていく——



「恐怖」あるいは
「信仰」によって
神霊・妖怪は
存在強度を
保っているからだ



早苗が大家族を
作ったくらいじゃ
焼け石に水よ?

街を、いいえ!!
国を興せるほど
産んだとしたら?

!?



私が産んで
増やせば
良いんですよ!

ポォー



それは人ではなく
神視点の発想だった

ほーっ？

二柱とも
驚きこそすれ
否定はしなかった

本気の田舎
-しんがら-



信者の皆が
私好み
成ればいいんです！

人を天と地に
置き換えれば
容姿も自在ですよね！！



他者に
妊娠機能を
貸し与える
まさに生産業

生涯で約四百個
排卵される卵子の
有効活用

繁殖から解放され
その分業ができる
表向きその宣伝し
働き手を確保する
狙いもあった



「代理母職」の
先駆け

早苗の卵細胞だけでは
いずれ限界が来る。
そこで目指したのが
この手段の職化だった



神奈子は胎児の成長速度を速め信仰を糧に変える体質の付与



諏訪子は子宝に恵まれ安産体型の体質付与



なんてお尻なんか叩くんですかあ!

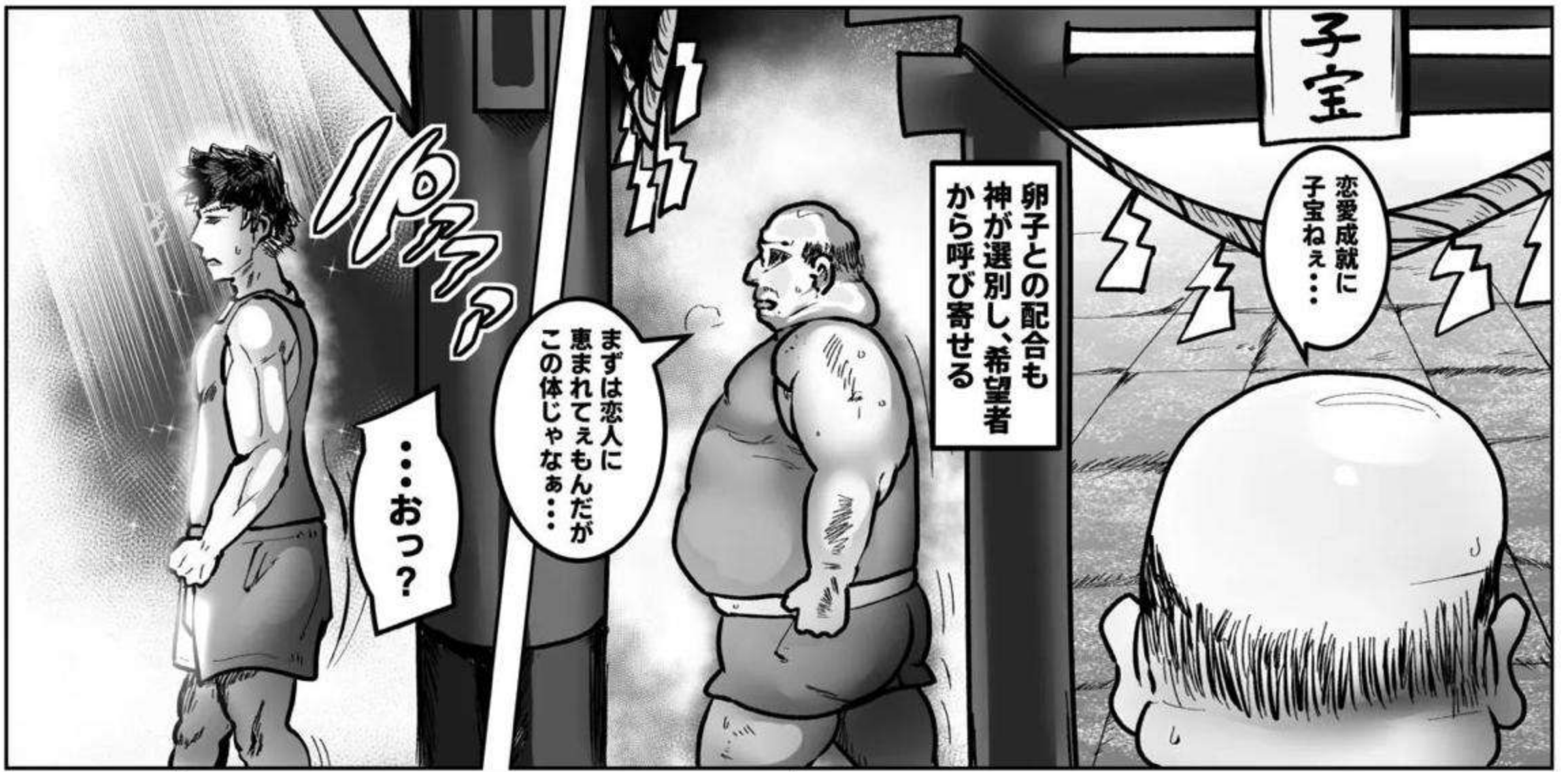
反閉みたいなもんさね

母胎を大地に見立て時間を空へと見立てた二柱の力の応用である

二柱はしばらく育児と教育の為、雇用まで見据えて公共事業に動しんだ

分霊フル投入の人海戦術の反則技である





子宝

恋愛成就に
子宝ねえ...

卵子との配合も
神が選別し、希望者
から呼び寄せる

まずは恋人に
恵まれてえもんだが
この体じゃなあ...

...おっ?



想い人
神じゃ

あ、あなた様は?



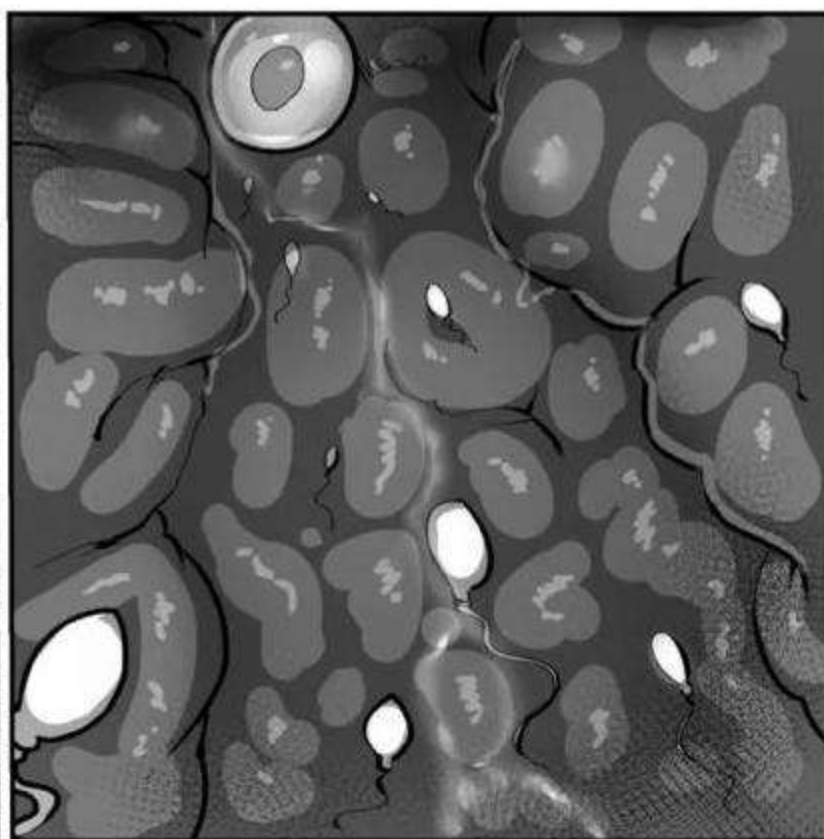
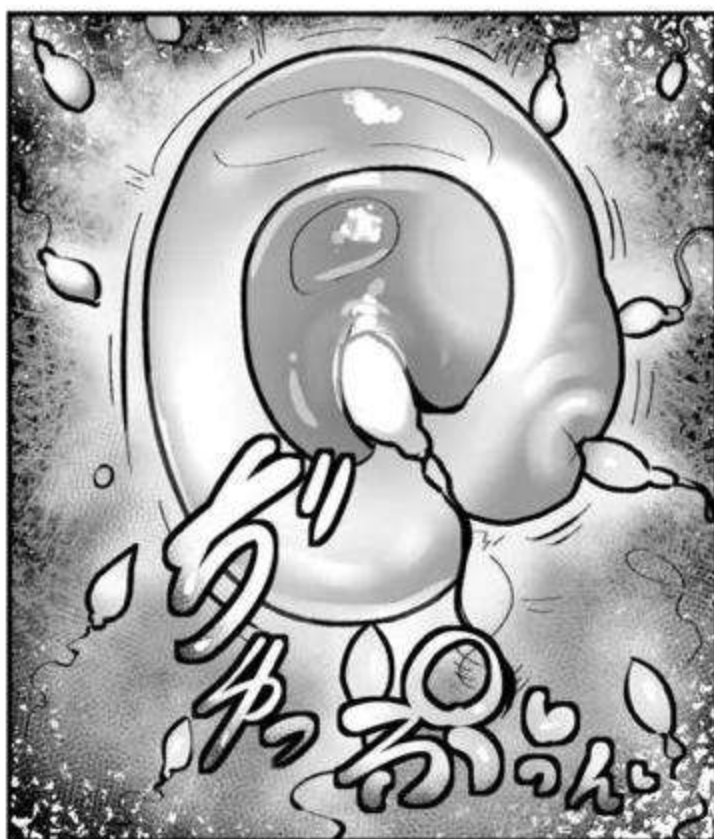
ここは
いったい?

ムダ毛も髪に
なってるら?



喜ばしいことです
選ばれたお人よ







9つもの心臓に
血を回す補助の力

信仰力を
撫で祈願で
集め始めた



早苗は同時に
8人もの赤子を
身籠った



老若男女問わず
参拝者は増え



続いて生命の
神秘に惹かれて



はじめは
物珍しさから



早苗自身も
比例して
頑丈な母体へ
育っていった





巫女に選ばれた者だけの



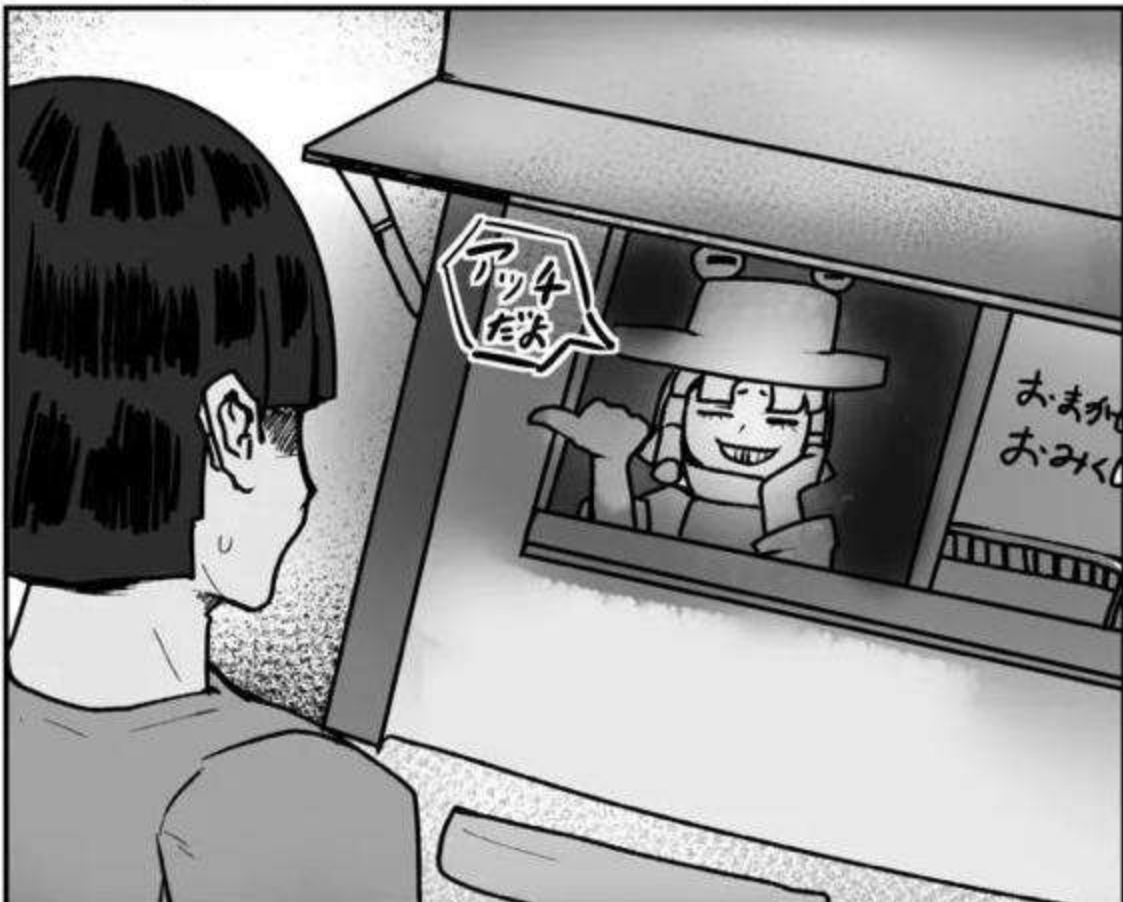
特殊な祈願も行われていた



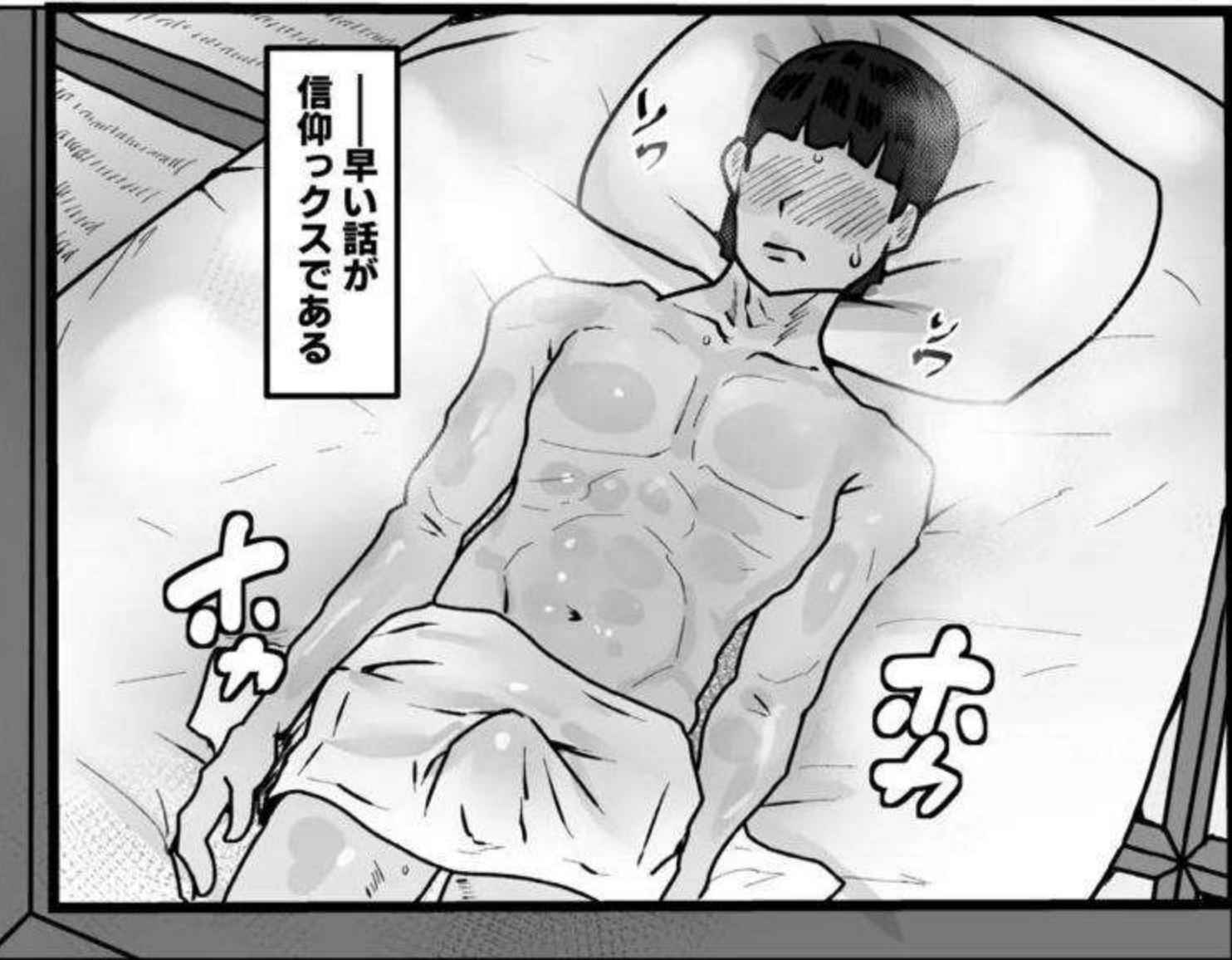
安定期を迎えたころ



男性信者と孕巫女が密室で肌を重ねるー



おまたせ しましたあ♡



ー早い話が 信仰っクスである





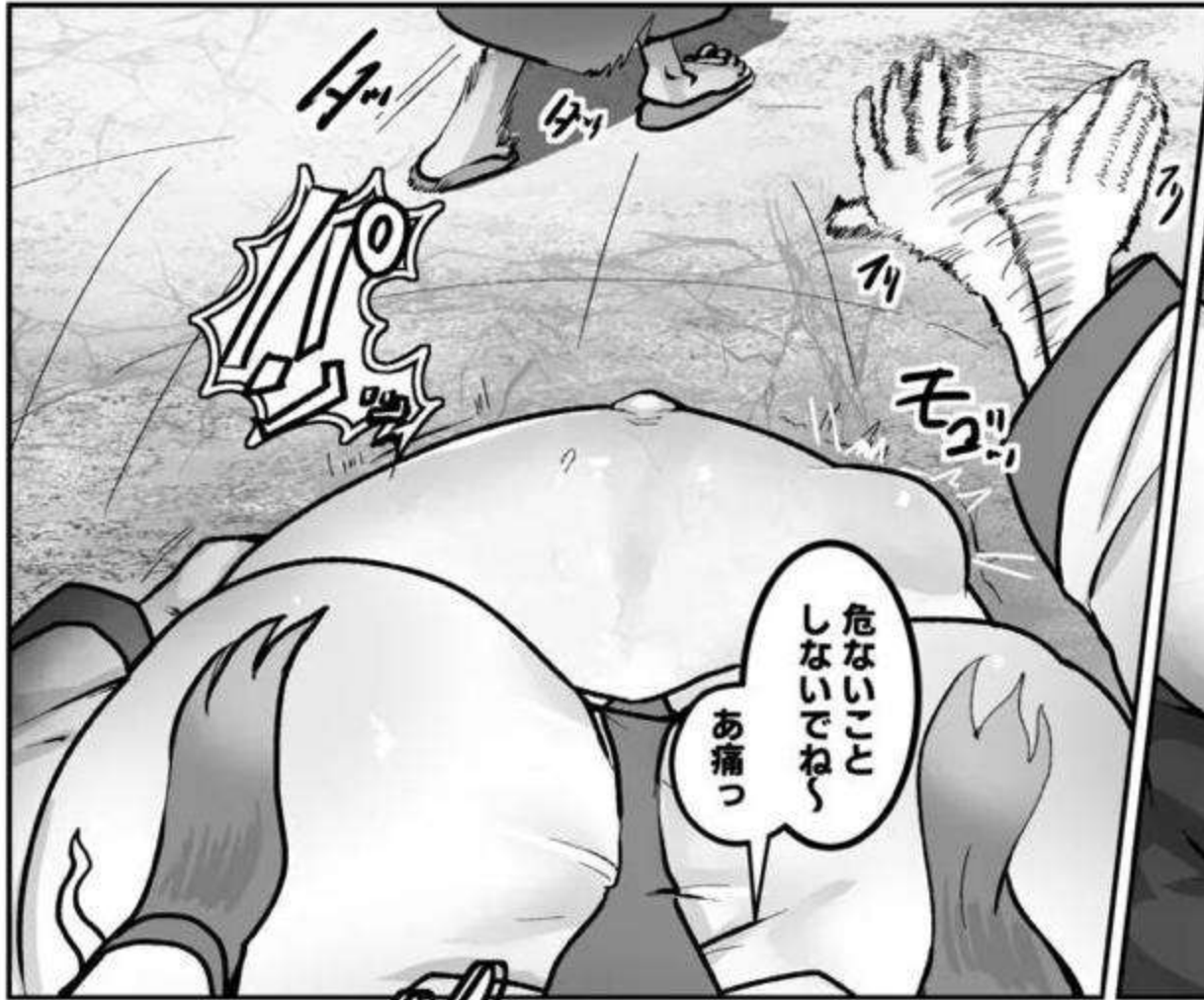












危ないこと
しないでね
あ痛っ



ともだちに
よばれた！
もういいね！

おーい
鬼ごっこ
しよーす！



あー



おしるしが
きちやいました…
すわこ、さま…
おねがい、します…

アッ
アッ
アッ

神奈子おー
早苗が産気づいた！
お湯沸かしといて

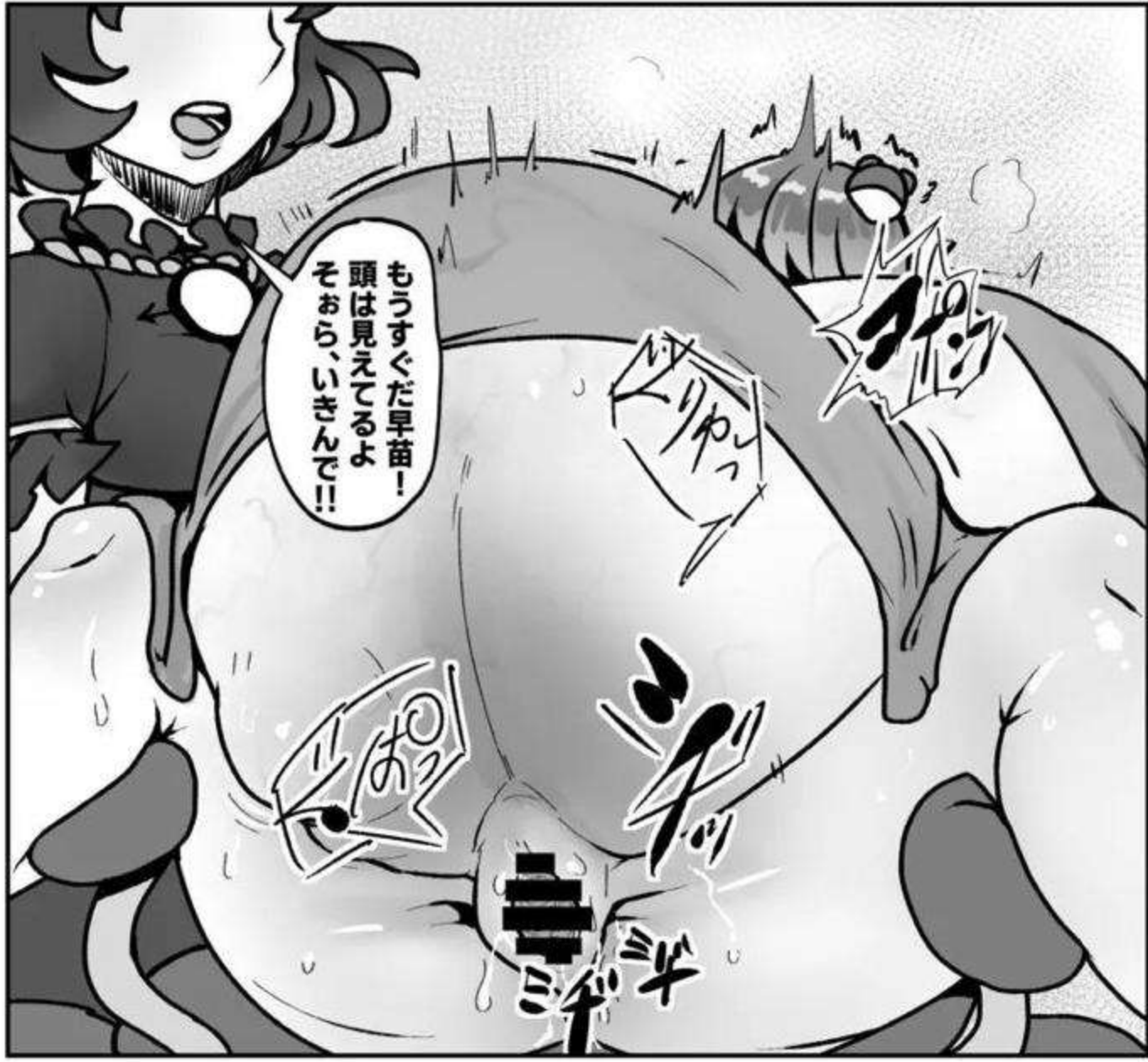
いよはば

ドクン

びわまよ

ズン
ズン

ドクン
ドクン
ドクン







搾乳機が
手放せなくなった



八人分を賄う
乳は張りつめ



あいたた...!



両親たるは二柱の
別側面に任せられた

これも
分御霊である



産まれた子は
守矢保育で育てられ



翌月には
排卵を始めた



産後の消耗も
すぐさま快復

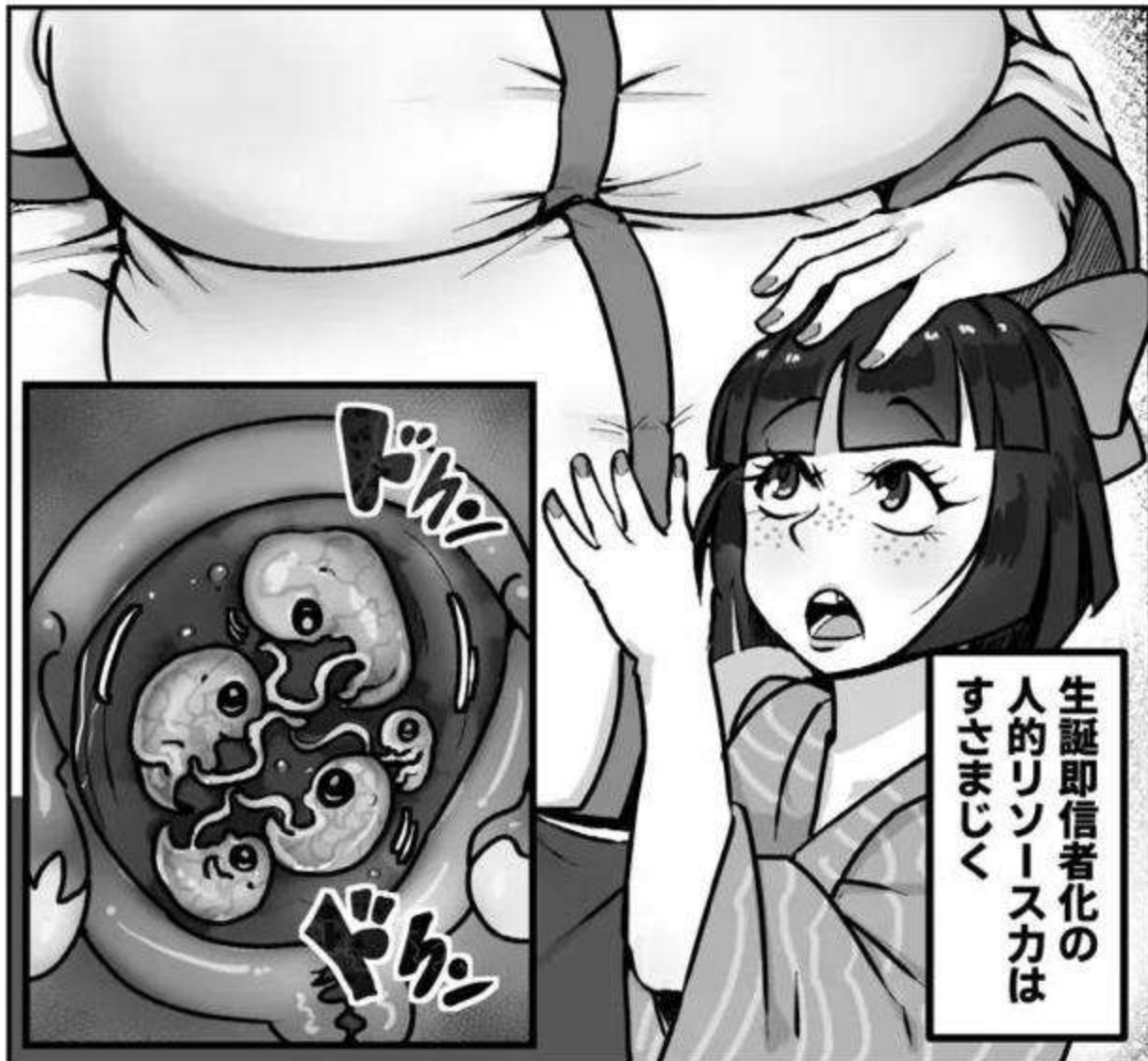


次代の
孕巫女も
教育し

信者達の輪で
子供に社会性を
獲得させる



生殖分業を進める
守矢の町興し計画



生誕即信者化の
人的リソース力は
すさまじく



一年を通して
信者との子を
孕み育てる



そうして
二十年余りが
過ぎ去った



守矢の街は
大きな勢力に
なっていた





早苗の血を時々
血統に混ぜる為
血縁の無い子と
交わる行事を
この地域では
交潮と呼んだ

遠慮しないで
好きにしよう
いいのよ♡
あ、なんだ
おっぱい
飲むかしら？

さす..

ズン

ポッポッ

ポッポッ

ポッポッ

ポッポッ



ふふっ♡
ピンと張って
元気なおチンポ♡

おっぱい



あーっ

あなたの弟達にも
接続してあげませう



ハッ...

ハッ...



ポッポッ

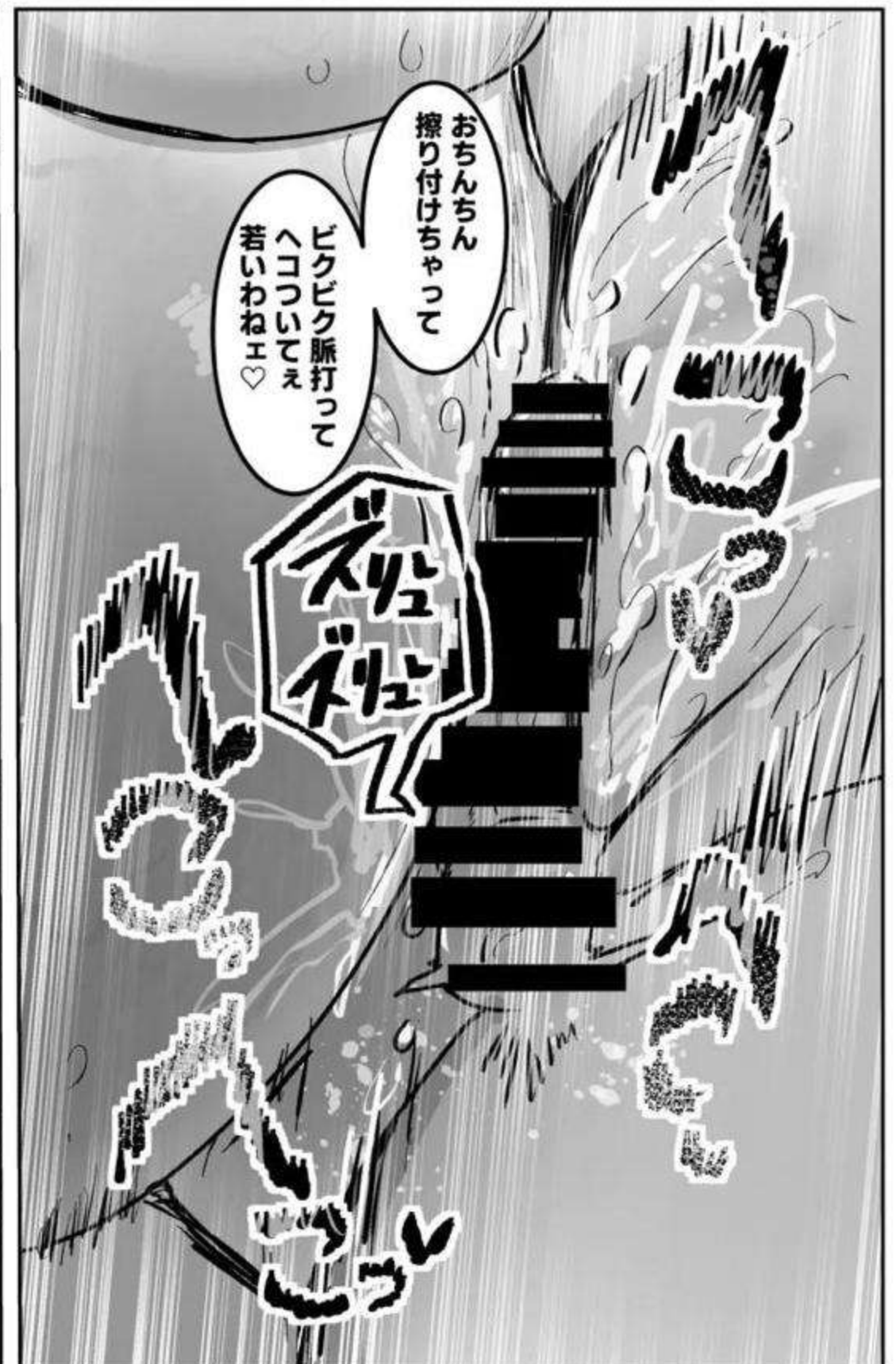


そんなに
急がなくても
逃げませんよ



いいわよお♡
そこでびゅっびゅ
したいんだもんね♡

グツグツ滋って
気持ちよおく♡
子種汁お射精
しちゃってえ♡



おちんちん
擦り付けちゃって

ビクビク脈打って
へっついてえ
若いわねエ♡

ズル
ズル



ちやあんと
びゅっびゅ
出来たわね♡



あらあら♡
まあ♡そんなに
良かったの



はああ♡
ブツ濃おい♡
濃厚なこと♡

それじゃあ



どれどれ
あなたの信仰は
どのくらいカナ



随分でぞめせば
貰いませ♡





今度はここに挿入してえ♡
ズッポズッポ奉納してね♡



見えるかしらあ？

あなたはココを
通って産まれたの



よっぴのしゅっ♡

たぶっ

ガッ

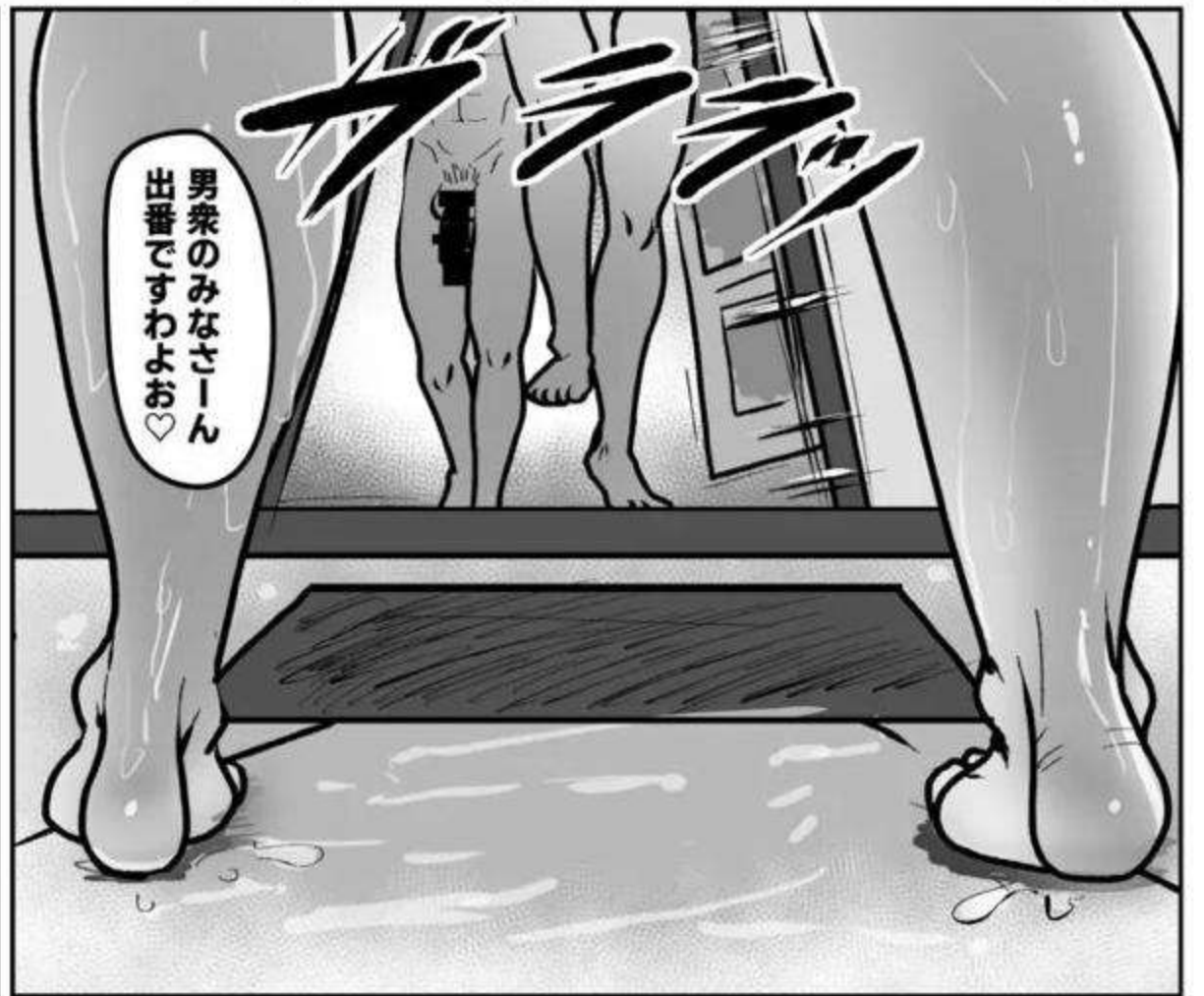
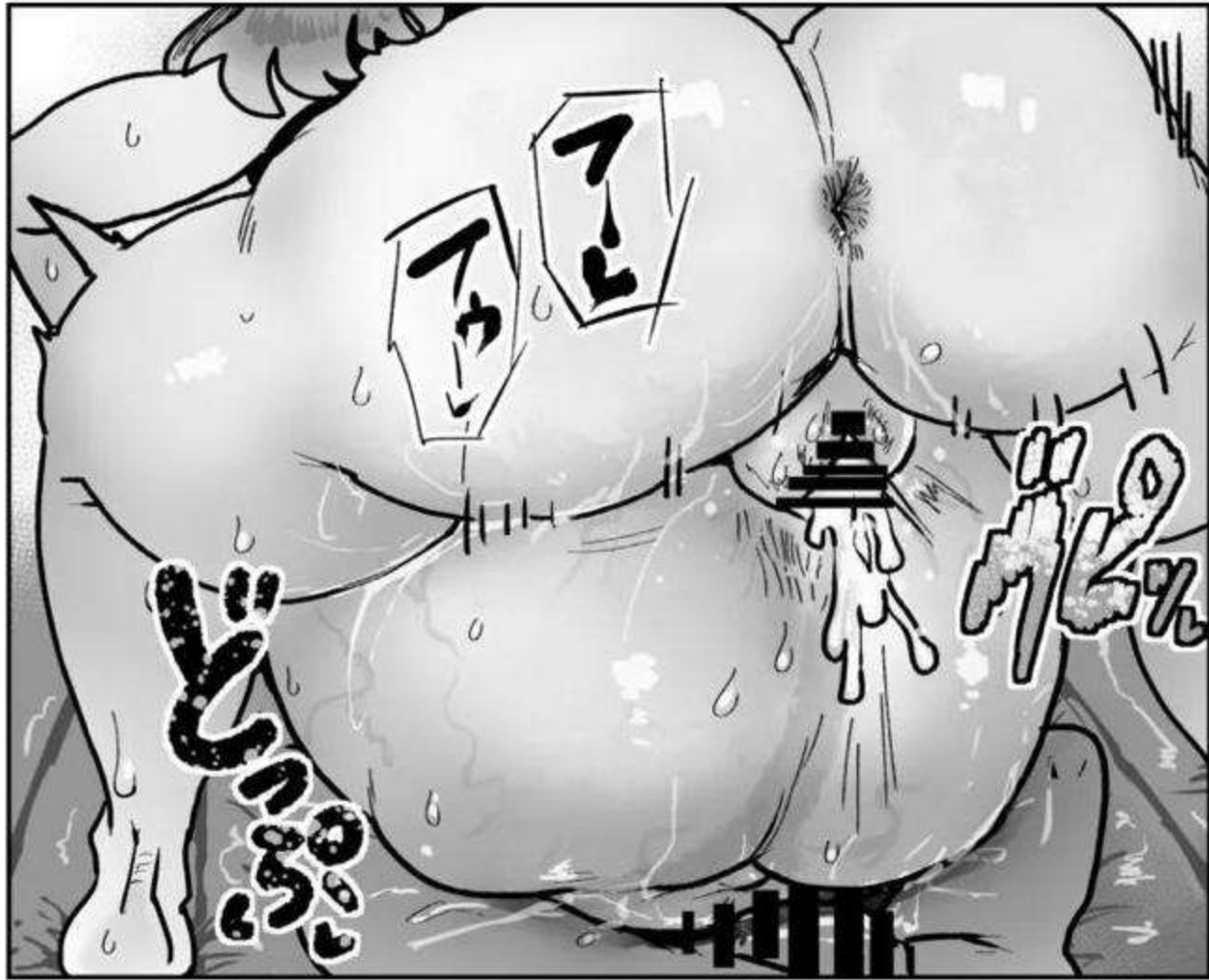


しっかり奥までノックしてっ♡
たっぶり吐き出してね♡



はあ♡
おめえの黒挿り♡











ブツ濃い信仰
ご馳走様ア♡

次は我が子を
抱きに迎えに
来て下さいな♡



旦那様方
今夜は大変
お疲れ様でした♡



Yes...

ハイ、
これです

グイッ
グイッ
グイッ



もう出て来ず
次でいって
みましょう

グイッ
グイッ
グイッ



ぐわん
ぐわん
ぐわん



グイッ
グイッ
グイッ

グイッ

グイッ
グイッ
グイッ

グイッ
グイッ
グイッ

グイッ
グイッ
グイッ



ザッ
ザッ

容赦ないわねえ
園訪子さまの
子供ってのは

正解です
あと、四人目が
そろそろです

いまの男の子
でしょ！

毎年産んで
いるとねえ、
わかるの...



ハッ

オホ

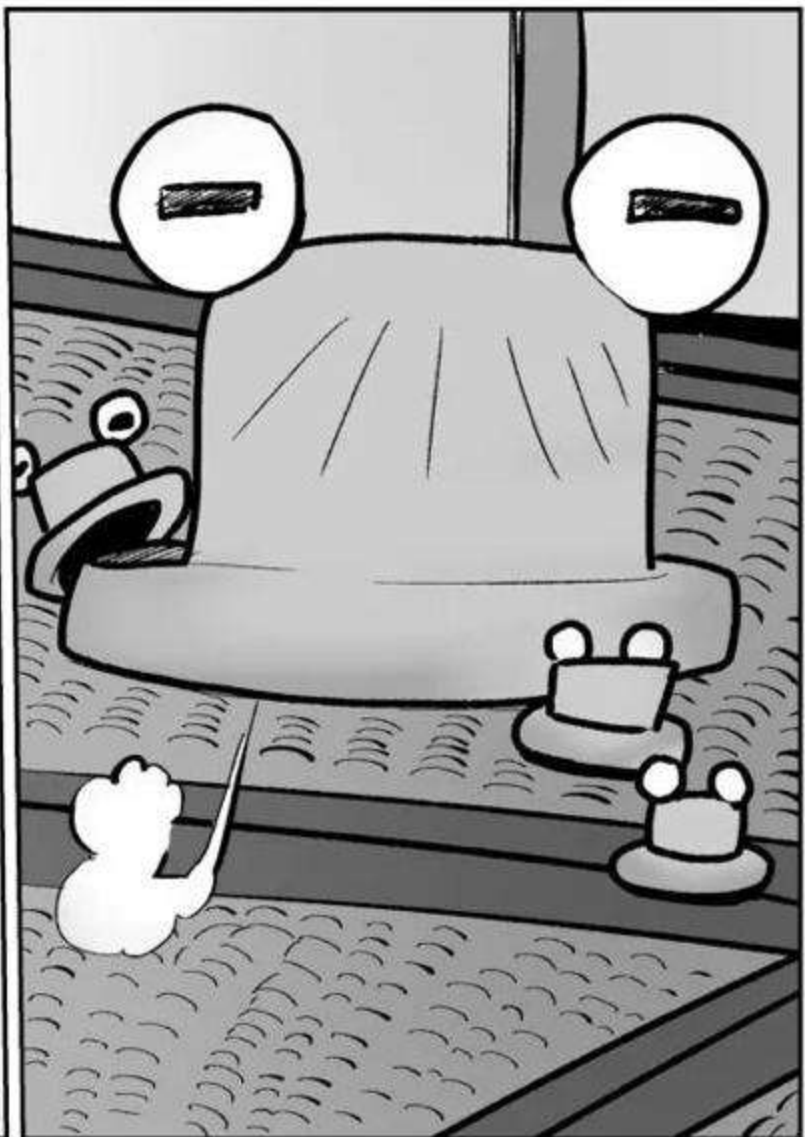
オホ

ハッ



公共事業に
精を出していた
二柱の分霊は

人足が増え
代わりができた
二柱は、孕巫女も
請け負いはじめた



人と神との境は
曖昧となり
血を継ぐ人類は
社会に神気を
循環させる



神と肌とで
交わる事により
信心は身近な
ものとなり



強固な神道国家
守矢の民の国は
ここを起源に
していった...



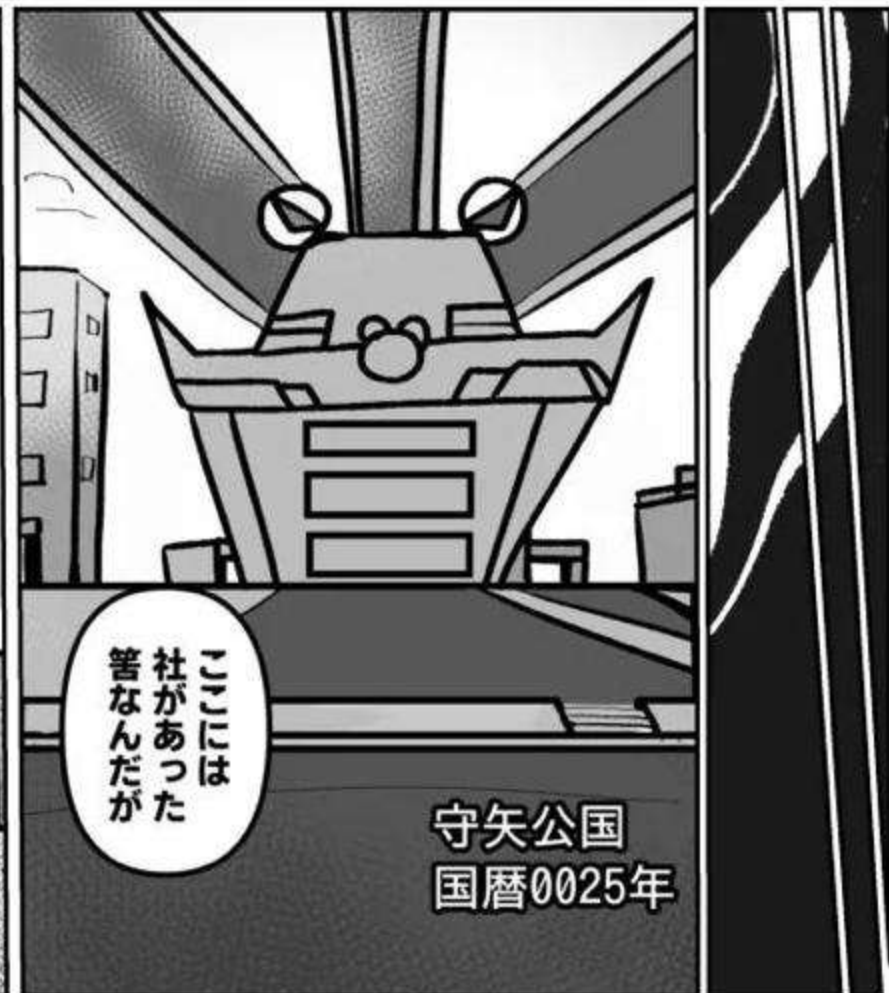
加護を受けた
人間の孕巫女も
数を増やしてい



なんかの手違いだろ
この変わり様は—



やれやれ
ちよっと目を
離すとこれだ



ここには
社があつた
筈なんだが

守矢公国
国曆0025年



ダイダラボッチ?
団体の割に
妖力を感じないぞ



署まで
同行願おう



何やら
噂をきわつてさ
らしいな

その
半妖



まったく
守矢はいつも
おどろかして
くれるよ

技術発展が
外の世界を
上回ってる

歴史収集だ
後世に何か
残したくてね



そんで...

増えすぎた守矢民を
宇宙に飛ばすため
コロニーづくりを
始めたよ...



自分の痴態は
隠したいだけ、
そっだよなあ？

国ってデカイ
生き物にも
思春期は
来るんだ



どうせこの伝記も
口出しすんだろ？

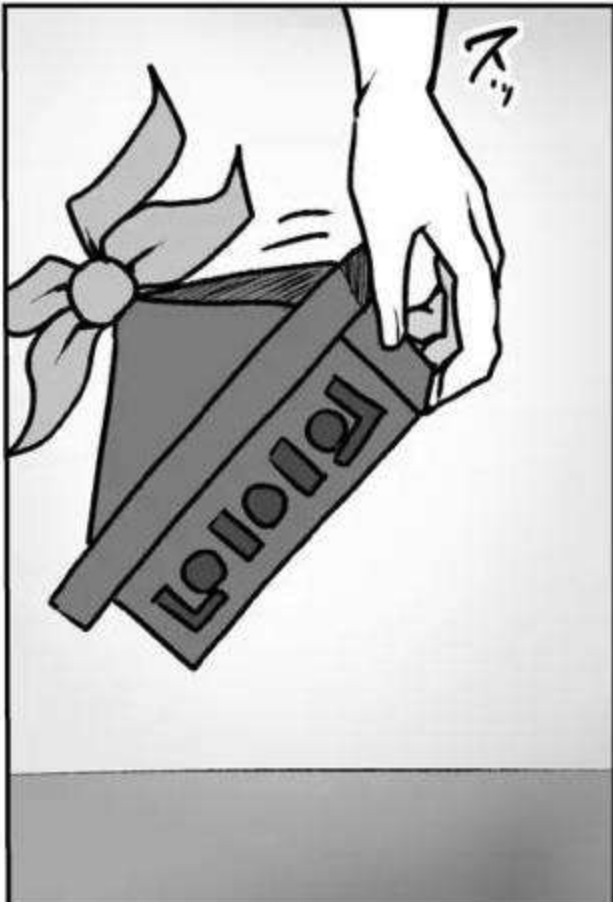
嫌とは言え
ないよ
そりゃそりゃ

私も
長生きしたい
からね



おしまい

あの時のお偉いさん方
増えた人間で、本当は
なにがしたかった
のだろうねえ？



とっついで、
似たような話を
妖狐の国でも
食べたんだが...

あとがき

この本を手にとっていただきありがとうございます。今回はひとつの繋がったお話を結構なページ数分描いたこともあり、かなり大変な執筆でした。これまでの作品を見返しては作業に取り組んでいましたが、少しずつ漫画として読めるようになってきたのではないかと自負しています。今作では早苗さん一行が町興しから影響力を持って、国を興すまでになりました。爆発的に増える異なる分子というのは恐ろしい力を持つのだと、書きながらに現実の国際状況や日常の方でも思いました。(人の集団こそ国であるのと考えているので)ただのフェチを書き込んでいるつもりが、何かしらのメッセージを組み込もうとしている。作品作りの視野が広がった気がする一方で本来の目的を見失わないようにしたいですね。シコリティ第一でいきたいところです。

長くなりましたが改めて、今作をお読みいただきありがとうございます！
これからの活動も応援していただけると幸いです！
Xやpixiv、電子版サイト等で、感想をお待ちしております！

孕神様の町興し

発行日：2026年5月4日

原作：上海アリス幻楽団 様

発行者：番傘番外地

Pixiv:18767194

X(Twitter)@mk2hassyupapii

印刷所：株式会社栄光 様

18歳未満の方の購入又は閲覧を禁じます。
本書の無断転載、無断複製インターネット上への
アップロードを禁じます。

相合傘

